

2026年5月2日

千葉県協会登録者 様

千葉県バドミントン協会
会長 遠藤 隆
理事長 飯田 武司

「3ゲーム×15点制」の扱いについて

平素から本会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。標記に関しまして、4月25日開催のBWF総会の決定を受け、4月30日にBAJにて対応方針が決定されました。その内容を報告すると共に、本協会としては下記の通り定めましたのでお知らせいたします。

1. 千葉県バドミントン協会の主催・主管大会への対応

- (1) 5月9日(土)、5月17日(日)に予定されている「令和8年度千葉県社会人バドミントン選手権大会兼第69回全日本社会人バドミントン選手権大会県選考会」については現行のスコアリングシステムで大会を行う。
- (2) 6月13日(土)「2026年度千葉県民スポーツ大会第二部(国民スポーツ大会千葉県大会)バドミントン競技」以降の大会から「3ゲーム×15点制のスコアリングシステム」で行うことと致します。

※ 千葉県バドミントン協会の主催・主管大会とは？(下記のURLからご確認下さい。)

https://www.badminton-chiba.com/2026_event/2026.04.12_c.pdf

2. 日本協会の方針

- (1) 第1種大会への3ゲーム×15点制のスコアリングシステム導入時期をBWFの導入時期より早めます。その理由は、以下の通りです。
 - ① 3ゲーム×15点制が導入される2027年からロサンゼルスオリンピック出場権獲得レースが始まることから、プレーヤーが3ゲーム×15点制に早く適応できるようにすること
 - ② 現行の大会運営において、競技時間の短縮が全国共通の課題となっていること
- (2) 2026年度の具体的な対応は以下の通りです。
 - ① 全日本総合バドミントン選手権大会、全日本社会人バドミントン選手権大会、全日本シニアバドミントン選手権大会、全日本ジュニアバドミントン選手権大会、国民スポーツ大会バドミントン競技、日本スポーツマスターズバドミントン競技、S/JリーグI・II・IIIの各大会は3ゲーム×15点制で実施します。
 - ② 全日本総合バドミントン選手権大会への出場権が獲得できる①以外の第1種大会(全日本学生バドミントン選手権大会、全日本教職員バドミントン選手権大会、全国高等学校バドミントン選手権大会、全国中学校バドミントン大会、各地区予選会)の該当種目は3ゲーム×15点制で実施します。

なお、2026年度の日本ランキングサーキット大会については、開催日までの準備期間が限られていること、また選手・関係者への事前周知および大会運営上の混乱を避ける観点から、現行の3ゲーム×21点制で実施します。
 - ③ ①②以外の第1種大会のスコアリングシステムについては、主催加盟団体の判断に委ねます。
 - ④ 2027年1月以降の第1種大会につきましては全て3ゲーム×15点制で実施します。
- (3) 競技規則の改訂をお知らせするまでの間は、『BAJルールブック2026』PP.28-29記載の「代替スコアリングシステム 2.1ゲーム15点で2ゲーム先取の3ゲームマッチ」を適用します。

以上